

# 島根の地域医療の現状と 医師確保対策

平成21年7月10日  
へき地保健医療対策検討会

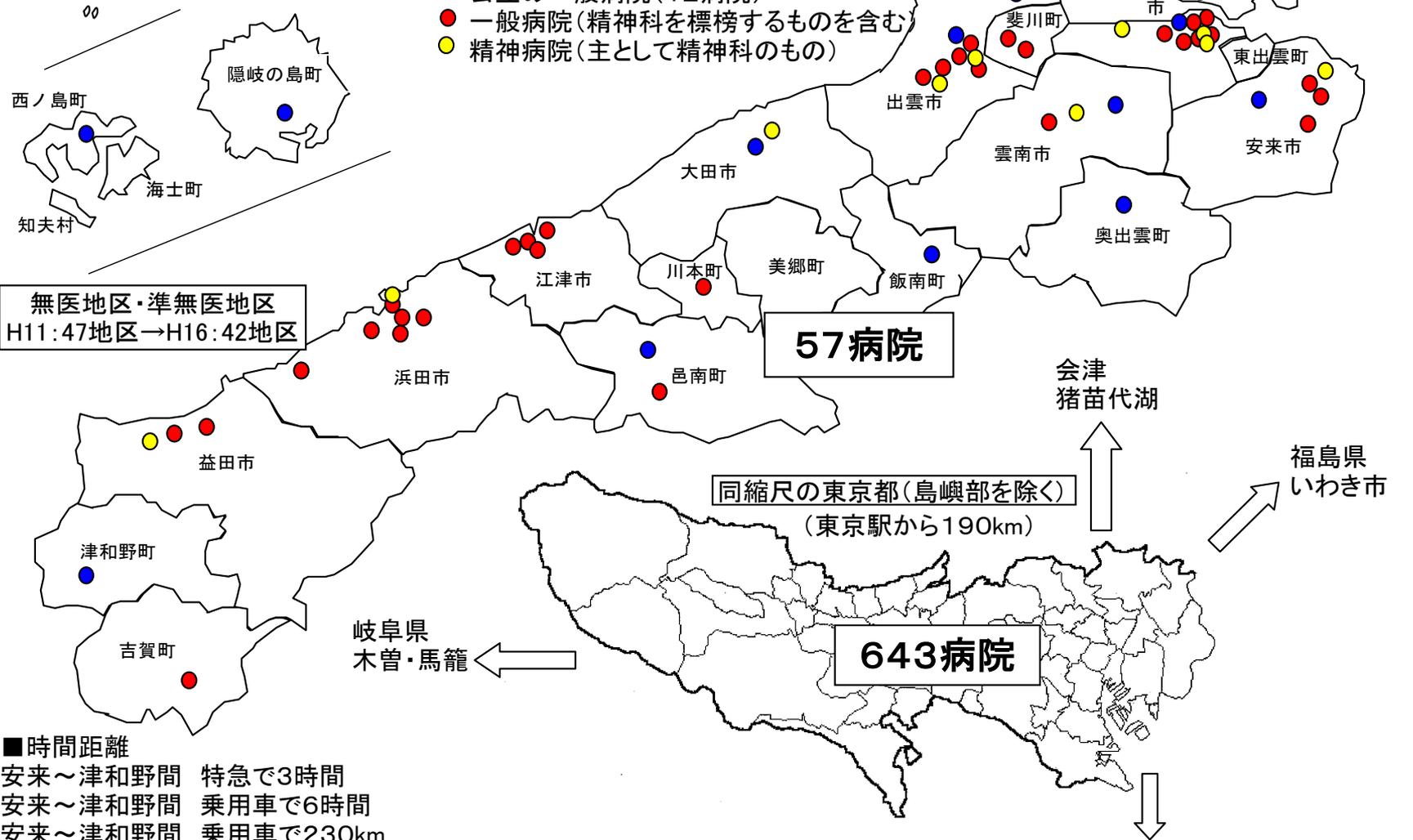
島根県健康福祉部 医療企画監 木村 清志  
(医師確保対策室長)



医師募集キャラクター  
赤ひげ先生

島根県の病院配置の状況(平成21年7月1日現在)

- 公立の一般病院(12病院)
- 一般病院(精神科を標榜するものを含む)
- 精神病院(主として精神科のもの)



無医地区・準無医地区  
H11:47地区→H16:42地区

57病院

同縮尺の東京都(島嶼部を除く)  
(東京駅から190km)

643病院

■ 時間距離  
 安来～津和野間 特急で3時間  
 安来～津和野間 乗用車で6時間  
 安来～津和野間 乗用車で230km  
 島根県:東西約190km

東京都:東西約90km

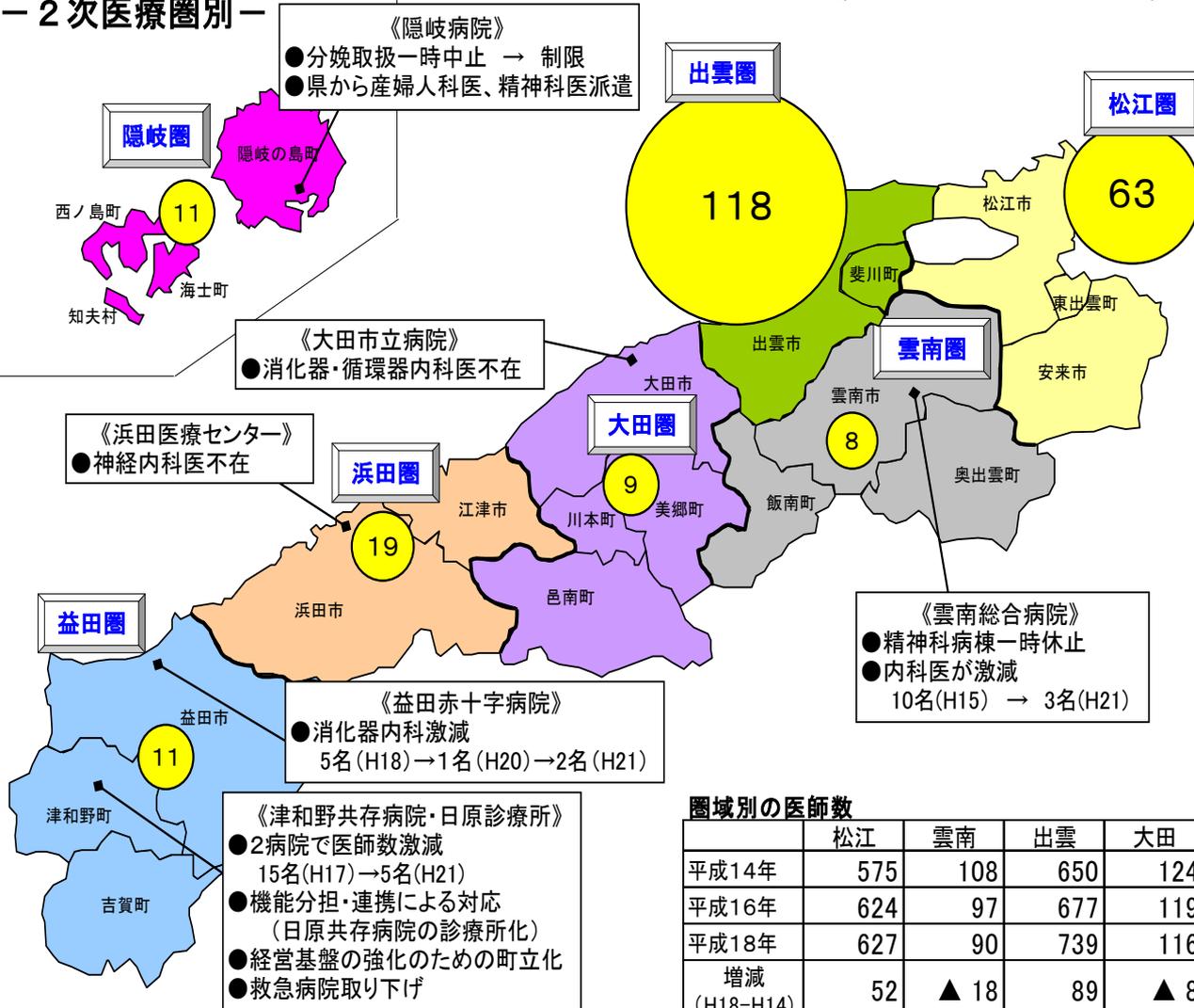
三宅島の向こう

# 資料 2

- 島根県の医師数密度(人/100km<sup>2</sup>)
- 医師不足による代表的な支障事例

医師数:平成18年12月31日現在  
(H18医師・歯科医師・薬剤師調査)

## — 2次医療圏別 —



島根平均

29

全国平均

74

東京都

1,632

圏域別の医師数

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	計
平成14年	575	108	650	124	193	157	43	1,850
平成16年	624	97	677	119	186	151	41	1,895
平成18年	627	90	739	116	178	151	38	1,939
増減 (H18-H14)	52	▲ 18	89	▲ 8	▲ 15	▲ 6	▲ 5	89

# 医師確保対策事業の概要

## 医師を《呼ぶ》

### ＜赤ひげバンクH14～＞

県外の医師とネットワークをつくり、地域医療を志す医師を呼び込む。

### ＜積極的な医師面談＞

各種広報媒体を活用した情報収集により県外医師との面談を行い島根で働く即戦力の医師を確保。

## 医師を《助ける》

（勤務環境の改善）

### ＜代診医の派遣H12～＞

診療所で働く医師が学会や研修会に参加できるように医師を派遣

### ＜ドクターズヘリ(防災ヘリ)H10～＞

救急患者を乗せ救命救急センターに転送（例年100件程度）

## 3本柱

### 医師確保対策室

医師

＜呼ぶ＞＜育てる＞＜助ける＞

#### 【医師確保実績】

H14～H17: 15名、H18: 8名、  
H19: 11名 H20: 9名

#### 【出張訪問面接】

H18: 32人、H19: 52人、H20: 32人

- 全国的な医師不足で、県外からの招聘は困難
- 医師不足状況下では、勤務環境の大きな改善は困難

## 医師を《育てる》

### ＜医学生向けの奨学金＞

将来県内で働く条件で奨学金を貸与

### ＜研修医等定着特別対策事業＞

#### ①学生・研修医への働きかけH14～

医学部学生を対象に夏季・春季研修

#### ②魅力ある研修病院づくりH17～

プログラム発展講習会、  
指導医の教育技術講習会等を開催

**地域医療に従事する意欲のある  
医師を育てることが重要**

**（医師不足解消には、遠回りに見えるが  
一番の近道）**

# 医師を《育てる》施策

資料 3-2

## (1) 医学生向け奨学金 貸与者総数92名(H14~H21)

奨学金の種類		創設年度	貸与者数	貸与金額	免除義務
医学生地域医療奨学金	一般枠	H14	46	月額10万円、 入学金相当額28.2万円	貸与期間の3倍の期間内に貸与期間年数と同年数を県内指定医療機関に勤務
	地域枠	H18	30		
島根大学緊急医師確保対策枠 推薦入学者奨学金		H21	5	月額10万円、 入学金相当額28.2万円、 授業料相当額535,800円	卒後12年が経過するまでに、県内公的医療機関等で5年間、県内のへき地医療機関4年間の計9年間勤務
しまね医学生特別奨学金		H18	11	150万円/年 (2年を限度)	初期臨床研修後、6年間県内指定医療機関に勤務

## (2) 研修医等定着特別対策事業

### 【目的】

医学生及び研修医に対し、県内研修病院での研修を促すことにより、将来、島根県の地域医療を担う医師の県内定着を図る。

### 【事業概要】

#### 島根大学に委託実施(H20年度～)

- ◆ 医学生はもとより、初期臨床研修医の約5割、後期臨床研修医の約7割が属しているため、医学生や研修医の意向を反映した事業展開が期待できる

#### 学生・研修医への働きかけ

- ◆ **医学生夏季・春季実習 & 地域医療セミナー**  
地域医療への興味関心を継続的に持ってもらうよう地域医療現場体験実習やセミナーを開催。
- ◆ **初期、後期臨床研修ガイダンス**  
県内の研修病院合同による初期と後期臨床研修の説明会を開催。
- ◆ **研修医意見交換会 & アンケート調査**  
研修プログラム等についての意見交換と研修医の興味ある分野の講師を招いての講演会。研修環境や進路意向等についてのアンケート調査。

#### 魅力ある研修病院づくり

- ◆ **臨床研修プログラム発展講習会**  
各研修病院のプログラムが研修医にとって、より魅力的になるよう内容を向上させるため、全国的にも著名な研修病院から講師を招いてセミナーを開催。
- ◆ **臨床研修指導医講習会**  
指導医の教育技術レベルアップ及び臨床研修病院の指導体制の確保を図るため、厚生労働省の基準に沿った指導医養成講習会を開催。
- ◆ **臨床研修病院連絡会議**  
臨床研修についての会議を開催し、連携強化を図る。
- ◆ **地域医療教育連絡会**  
島根大学医学部6年生の地域医療実習受入機関の連絡会議。

#### 県が実施

#### 高校生への働きかけ

- ◆ **高校生医療現場体験セミナー**  
医療現場での体験、学習を通じ、医師の仕事や地域医療について理解を深め、医師を目指す生徒を増やす。
- ◆ **夢実現進学チャレンジセミナー**  
医学部や理系難関大学・学部への進路希望を実現できるよう支援するとともに、医学部への興味関心を喚起する。  
[対象: 学力上位の高校2年生]

#### プログラム作成支援

- ◆ **臨床研修プログラム作成支援**  
全国から総合医を目指す研修医を集めることができるような研修プログラム作成を支援。

[アドバイザー]  
名古屋大学: 伴教授、  
自治医科大学: 梶井教授